

1. 調査目的

現在、多くの素材で建物を建てている。街並みの中に新しい建物を建てたとき、どのような建物であれば周辺と調和できるかと考え、次の2項目について研究することにした。

- ①手前から奥にかけての建物の素材の組み合わせによって街並みの印象はどのように変化するか。
- ②手前から奥にかけての建物の色と素材の組み合わせによって街並みの印象はどのように変化するか。

2. 実験概要

2-1. 呈示画像の作成

様々な街並みを撮影し、3つのパート（手前・中央・奥）に切り分けて組み合わせ、図1のような街並み画像を作成した。作成に当たっては、手前と奥のセットを16種類、中央の建物を6種類作成している。それらの組み合わせ96パターンの画像を呈示画像とする。

前半の48パターンは表1の①に対応するもので、表1に示すように素材の組み合わせが異なる手前と奥のセットに素材の異なる中央の建物を組み合わせたものである。後半の48パターンは表1の②に対応するもので、色の異なる手前と奥のセットに素材の異なる中央の建物を組み合わせたものである。

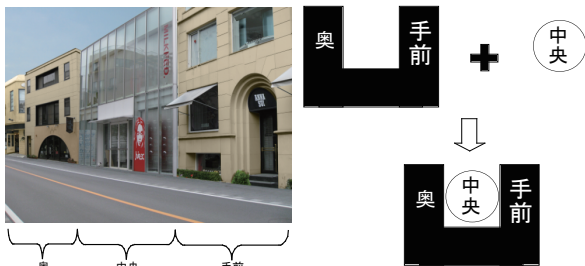


図1 街並み画像の作り方

2-2. 実験手順

実践女子大学の学生23人に液晶プロジェクターで映した画像を1~2名ずつ評価してもらった。評価方法は9項目の7段階のSD尺度である。

3. 結果と考察

評価データの平均値を算出し、因子分析を行った結果、3因子が抽出された。それらの代表尺度である「好ましさ」「柔らかさ」「面白味」について

表1 街並みの組み合わせ

街並みの特徴	手前		中央
	奥	手前	
① 左右が同じ素材の街並み	古い建物	古い建物	古い建物
	コンクリート	コンクリート	レンガ
	石	石	石
	ガラス	ガラス	コンクリート
	金属	金属	金属
② 左右異なる素材の街並み	コンクリート	古い建物	コンクリート
	石	コンクリート	ガラス
	金属	ガラス	
③ 左右同じ色の街並み	茶	茶	②の手前と奥の建物は色以外は変化していない
	ベージュ	ベージュ	
	白	白	
	グレー	グレー	
	黄色	黄色	
④ 左右異なる色の街並み	白	茶	
	黄色	緑	
	ベージュ	茶	

でグラフ化した。好ましさのグラフのみを図2に示す。

3-1. 好ましさ

(1) 図1の中央部が右に行くほど膨らんだ山型をしているので、中央の建物の素材が石・ガラス・レンガの場合に評価が高く、コンクリート・金属・古い建物とに従って低くなる傾向がある。(2) また、両サイドがベージュで中央がレンガ、両サイドが白で中央がガラスというように、手前と奥のセットと中央が似たものの評価が高い。(3) 街並みとしての評価は中央の建物の評価+手前と奥の建物の評価で表せることが多いが、全てが古い建物、手前と奥が古い建物で中央が金属（古い街並みと似たような建物）で評価が高いというように、色や素材が似通っている場合には評価が高くなる可能性がある。

3-2. やわらかさ

(1) 中央の建物の素材が石・レンガで高く、ガラス・コンクリート・金属とに従って低くなる。(2) 手前と奥がベージュ・ベージュや茶・ベージュのように暖色系の色が評価が高い。(3) レンガや石のように暖かさのある素材と暖色系で組み合わせられた時に評価が上がる。

3-3. 面白味

(1) 中央の建物の素材が金属・レンガ・石で高く、コンクリート・ガラスとに従って低くなる。(2) 緑・黄色や黄色・黄色のようにあまり一般的でない色の建物に挟まれた時に評価は上がる可能性が高くなる。(3) ベージュに挟まれている石や茶・ベージュに挟まれているガラスが評価が高いため、建物に特徴があるものの評価が高くなるのだと考えられる。

3-4. 街並みを整備していくにあたって

両サイドの組み合わせの評価に中央の建物の評価を加えると全体の評価が予測できるのであれば、良い建物を造っていくことで街並みを良くすることが出来るだろう。ただし、図2の古い建物のところで線が急に変化していることから、古い街並み・建物は注意が必要である。

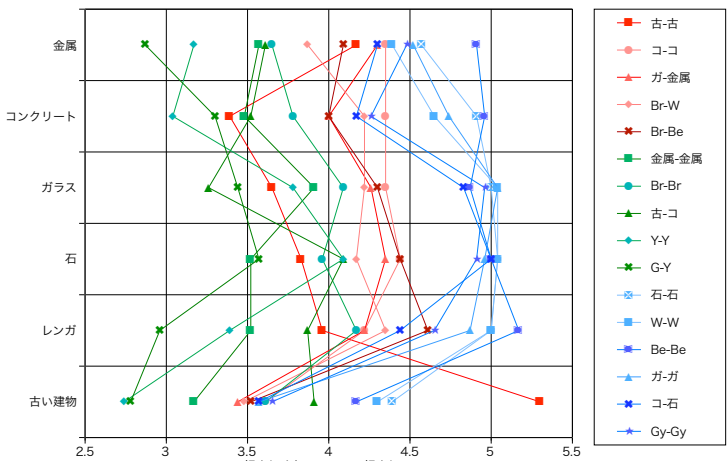


図2 好ましさの評定平均値